# 令和 元 年度事業 事後評価·決算 事務事業マネジメントシート <sup>令和 2年 6月 1日作成</sup>

	事務事業名 教師用指導書・準		所属部	教育委員会	所属課 学校教育課
4	☆ 政策名 〈Ⅳ〉ふるさとを学び	育つまち≪教育・文化≫	所属G	義務教育グループ	課長名 飛田 博志
i i i	☆ 施策名 〈26〉学校教育の充写	€ 意 基礎基本(知・徳・体)の発達を促し、生き抜く力	担当者名	今岡 博美	電話番号 0854-40-1072 (内線) 2283
Ī	□   日	図 <mark>を身につける。</mark> 殳備の充実	予算科目	会計 款 大事業 大 0 1 5 0 1 0 業	事 小(中)学校教育振興事業
	目 対 児童・生徒 的 象	意 学習しやすい環境で学ぶ。 図			事 小(中)学校教師用指導書・準

## 1 現状把握【DO】

### (1)事業概要 ① 事業期間 □ 単年度のみ ☑ 単年度繰返 ( H16 年度~ ) ☑ 期間限定複数年度 年度~ 年度 ) ② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)

- ・教科書改訂に伴い、教師用教科書・指導書 及び準拠教材の整備を図る。
- ・教科書の改訂は概ね4年に1回行われ、小 学校と中学校で改訂時期が異なる。
- ・教科書・準拠教材は、業者が学校毎に指定 されている。

# (2) 事務事業の手段・指標

_ \ 4	2/争伤争系の士权・拍信							
	① 主な活動							
	R元年度実績(R元年度に行った主な)	舌動)	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動)					
	<ul><li>・小学校の教科書改訂に伴い、教</li></ul>	師用教	•中学	校の教科書	改訂に伴い、	教師用教		
	書・指導書及び準拠教材の整備		科書・	指導書及び	準拠教材の	整備		
	・教科書採択に関する事務		—	書採択に関				
-				,,,,,		,		
手								
段								
	② 活動指標	単位	H29	年度	H30年度	R元年度	R2年度	
		甲型	(実	:績)	(実績)	(実績)	(計画)	
_	教師用指導書整備額	千円		3.772	1.573	30.167	0	
	1牧即用铅等有作牌锭	1 1 1		J. / / Z	1.0/0	30.107	U	

	②活動指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
ア	教師用指導書整備額	千円	3,772	1,573	30,167	0
イ	準拠教材整備額 準拠数材整備額	千円	1,971	915	10,701	0
ウ	インストール手数料	千円	0	0	818	0
ェ						

(3) 事務事業の日的・指標

(3	○事務争耒の日的•指標							
	① 対象(誰、何を対象にしているのか)		③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	児童生徒	ア	児童生徒数	人	2,803	2,783	2,697	2,667
	が重工化 数職員	イ	小中学校教職員数	人	372	372	364	366
目		ウ						
的	② 意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	┃ ┃ 指導書・準拠教材の整備により授業をス	ア	学校の授業がわかると答えた児 童の割合	%	93	86	85	85
	ムーズに行うことができる 効果的な指導を受けられる		学校の授業がわかると答えた生 徒の割合	%	78	79	75	75
		ゥ						

# (4) 事務事業のコスト

(4) 事份争未のコヘト								
① 事業費の内訳 (1年度決算)		2	コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
消耗品費 30,167千円		ы	国庫支出金	千円				
備品購入費 10,701千円	=	財源	県支出金	千円				
手数料 818千円	<del>事</del>		地方債	千円				
	書	1	スの地	千円				
	具		一般財源	千円	5,743	2,488	41,686	
			事業費計(A)	千円	5,743	2,488	41,686	
	人		正規職員従事人数	人	1	1	1	
	件		延べ業務時間	時間	200	170	250	
	費		人件費計(B)	千円	815	736	1,060	_
		<b> -</b>	·タルコスト(A)+(B)	千円	6,558	3,224	42,746	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革 改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して 市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や 要望が寄せられているか?)
	準を設けた。	学校は教科書・指導書、準拠教材の早期納入を希望 一部の学校では、教師用デジタル教科書の購入、インストールの要望がある。
		高士士/D00左0日北丁仁/ 1.4

所属部 教育委員会

所属課 学校教育課

2	事後	評価【SEE】									
			合性 この事	務事業の目的は市	の政策体系に結び	つくか? 意図	することが結びついているか?	·	見直し余地があるとする理由		
	Г	見直し余地が		✓ 結びつ			* 余地がある場				
Α		元匠の水心		- 440							
目的	② 公	共関与の妥当	性なぜこの	事業を市が行わた	いければならないの	のか?税金を持	设入して達成する目的か?				
的		見直し余地が		✓ 妥当で		777	* 余地がある場	슈			
妥		兄担し赤地が	ാതര	▼ 女ヨじ	める		7,4-0,7 0,0 9,				
当性	② <del>111</del>	免,音図ので	<b>北州 54年</b> 7	祖中 竹加士をか	亜はかいか 0 辛酉	水阳宁 长大-	する必要はないか?				
性	_			_		日で限た・拡兀・	9 る必要はないか: * 余地がある場				
		見直し余地が	いある	☑ 適切で	ある		↑ 木地川のる場				
	Ø d÷	田の白 L 会地	****	+ 11 7 A 14 14 + 7	1. ot-m-t	<u> </u>	- 1 11 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		コーキョウエバザイーナキンの		
				させる余地はある					図で成果向上が期待できないのか。 とはで4年間よみました。		
		向上余地が							☆体で4年間をみこし、効果	ド的に放果	
		向上余地が	/ <b>4</b> 61	理由	を向上され	せるための	教材選定をしていく必!	安かめる.	0		
	O +		- 5 4 687								
	<u>(5) 廃</u>		<u> 果への影響</u>	この事務事業を			無とその内容は?	1	. –		
В		影響無			■ 学習指導	要領に定め	られた学習ができなし	ハ恐れがる	ある。		
有	~	影響有		理由							
効											
性											
1-	6 類	似事業との統				事業以外の手段	段(類似事業)はないか? ある	場合、その類	頁似事業との統廃合・連携ができる:	か?	
		他に手段が	ある *ぁ	る場合 🗬 (具体	的な手段						
		🦫 🔲 統原	桑合・連携がで	きるや類	以事業名)						
	☆ 統廃合・連携ができない				教育用教	材備品の予	算が無い状況では統	廃合する	らものがない。		
				理由	また、教育	育用教材は	るために必要な備品とい	う概念に対			
	▼ 他に手段がない				して、準拠	1人数材は数額	教科書に準じた必須の備品が多い。				
								, HH 10 D 0	•		
	⑦ 事	業費の削減余	地 成果を下	げずに事業費を削	削減できないか?						
		業費の削減余 削減余地が		げずに事業費を削		(仕様や工法の	の適正化、住民の協力など) の数量購入としている				
			ある		基準を定	(仕様や工法の	)適正化、住民の協力など)				
С		削減余地が	ある	げずに事業費を問	基準を定	(仕様や工法の	)適正化、住民の協力など)				
C 効		削減余地が	ある		基準を定	(仕様や工法の	)適正化、住民の協力など)				
効	<b>▽</b>	削減余地が制減余地が	ある ない	理由	基準を定	(仕様や工法の め、最低限(	の適正化、住民の協力など) の数量購入としている	ため、削	減の余地はない。		
効 率	<b>▽</b>	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業)	ある ない 務時間)の削	理由	基準を定った。	(仕様や工法の め、最低限の	の適正化、住民の協力など) の数量購入としている 業務時間を削減できないか	ため、削っている。			
効	下 <b>8</b> 人	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業 削減余地が	ある ない <u>務時間)の削</u> ある	減余地 成果	基準を定 を下げずにやり方 教科化や	(仕様や工法の め、最低限の	の適正化、住民の協力など) の数量購入としている	ため、削っている。	減の余地はない。		
効 率	下 <b>8</b> 人	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業)	ある ない <u>務時間)の削</u> ある	理由	基準を定 を下げずにやり方 教科化や	(仕様や工法の め、最低限の	の適正化、住民の協力など) の数量購入としている 業務時間を削減できないか	ため、削っている。	減の余地はない。		
効 率	下 <b>8</b> 人	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業 削減余地が	ある ない <u>務時間)の削</u> ある	減余地 成果	基準を定 を下げずにやり方 教科化や	(仕様や工法の め、最低限の	の適正化、住民の協力など) の数量購入としている 業務時間を削減できないか	ため、削っている。	減の余地はない。		
効率性	<ul><li>▼</li><li>8 人</li><li>▼</li></ul>	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業) 削減余地が 削減余地が	ある ない <u>務時間)の削</u> ある ない	減余地 成果 理由	基準を定。を下げずにやり方 教科化や	(仕様や工法の め、最低限の の工夫で延べ 教科書改訂	の適正化、住民の協力など)の数量購入としている の数量購入としている 業務時間を削減できないか 「「に伴う事務であるため	ため、削 <u>? 正職員以</u> か。	減の余地はない。		
効率性 D	<ul><li>▼</li><li>8 人</li><li>▼</li></ul>	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業) 削減余地が 削減余地が 過減余地が	ある ない 務時間)の削! ある ない 負担の適正化	減余地 成果 理由	基準を定った。	(仕様や工法の め、最低限の の工夫で延べ 教科書改言)	の適正化、住民の協力など)の数量購入としている の数量購入としている 業務時間を削減できないか 「に伴う事務であるため	ため、削 <u>? 正職員以</u> か。	減の余地はない。		
効率性 ロ公	8人厂	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業) 削減余地が 削減余地が 直し余地が 見直し余地が	ある ない <u>務時間)の削け</u> ある ない 負 <u>担の適正化</u> がある	減余地 成果 理由	基準を定った。	(仕様や工法の め、最低限の の工夫で延べ 教科書改訂	の適正化、住民の協力など)の数量購入としている の数量購入としている 業務時間を削減できないか 「に伴う事務であるため	ため、削 <u>? 正職員以</u> か。	減の余地はない。		
効率性 D公平	8人厂	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業) 削減余地が 削減余地が 過減余地が	ある ない <u>務時間)の削け</u> ある ない 負 <u>担の適正化</u> がある	減余地 成果 理由	基準を定。  ***********************************	(仕様や工法の め、最低限の の工夫で延べ 教科書改言)	の適正化、住民の協力など)の数量購入としている の数量購入としている 業務時間を削減できないか 「に伴う事務であるため	ため、削 <u>? 正職員以</u> か。	減の余地はない。		
効率性 ロ公	8人厂	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業) 削減余地が 削減余地が 直し余地が 見直し余地が	ある ない <u>務時間)の削け</u> ある ない 負 <u>担の適正化</u> がある	減余地 成果 理由 上余地 事業内	基準を定。  ***********************************	(仕様や工法の め、最低限の の工夫で延べ 教科書改言)	の適正化、住民の協力など)の数量購入としている の数量購入としている 業務時間を削減できないか 「に伴う事務であるため	ため、削 <u>? 正職員以</u> か。	減の余地はない。		
効率性 D公平性	8人 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	削減余地が 削減余地が 削減余地が 削減余地が 削減余地が 直し余地が 見直し余いで	ある ない ある ない <u>負担の適正化</u> がある ざある	選出 成果 理由 上余地 事業内 理由	基準を定。  ***********************************	(仕様や工法の め、最低限( の工夫で延べ 教科書改言) 者に偏っていて 校を対象とに	の適正化、住民の協力など)の数量購入としている 業務時間を削減できないか 『に伴う事務であるため で不公平ではないか? 受益 している。	ため、削っている。	減の余地はない。 以外や外部委託ができないか?		
効率性 D公平性	8人 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	削減余地が 削減余地が 件費(延べ業) 削減余地が 削減余地が 直し余地が 見直し余地が	ある ない ある ない <u>負担の適正化</u> がある ざある	選出 成果 理由 上余地 事業内 理由	基準を定。  ***********************************	の工夫で延べ教科書改言 者に偏っていて 校を対象と	の適正化、住民の協力など)の数量購入としている 業務時間を削減できないか 「に伴う事務であるため で不公平ではないか? 受益 している。	ため、削っている。	減の余地はない。 以外や外部委託ができないか? 公平・公正か?		
効率性 D公平性	8人 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	削減余地が 削減余地が 削減余地が 削減余地が 削減余地が ここの で評価者として	ある ない <u>務時間)の削</u> ある ない 負担の適正化 がある きある この評価結果	選曲 減余地 成果 理由 上余地 事業内 理由	を下げずにやり方 教科化や 教科化や 全ての学	(仕様や工法の め、最低限の の工夫で延べる 教科書改言) 潜に偏っていて 校を対象と	②適正化、住民の協力など)の数量購入としている 業務時間を削減できないか 「に伴う事務であるため で不公平ではないか? 受益 している。	ため、削っている。	減の余地はない。 以外や外部委託ができないか? 公平・公正か? 「理由) 材の確保ができない。		
効率性 D公平性 P	8人 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	削減余地が 削減余地が 削減余地が 削減余地が 削減余地が 直し余地が 見直し余いで	あるない <u>務時間)の削け</u> あるない <u>負担の適正化</u> がある  この評価結果	選申 水水 水果 理由 上余地 事業 中 理由	基準を定。  ***********************************	(仕様や工法の め、最低限の の工夫で延べま 教科書改言) 者に編っていて 校を対象とり	② 1次評価結果の総方を記している。  ***********************************	ため、削 ? 正職員』 か。 を者負担が公 を者負担が公 を も に し お に よ り に よ り に り に り に り と り と り と り と り と り と り と	減の余地はない。  以外や外部委託ができないか?  公平・公正か?  村の確保ができない。  教科担当者数の把握が業		
効率性 D公平性 評価	<ul><li>③ 人</li><li>⑤ 子</li><li>「✓</li><li>① 1?</li><li>A</li></ul>	削減余地が 削減余地が 削減余地が 削減余地が 削減余地が ここので 見直し余いで 欠評価者として	ある ない <u>務時間)の削</u> ある ない 負担の適正化 がある きある この評価結果	選申 水水 水果 理由 上余地 事業 中 理由	を下げずにやり方 教科化や 教科化や 全ての学	(仕様や工法の め、最低限の の工夫で延べま 教科書改言) 者に編っていて 校を対象とり	② 1次評価結果の総方を記している。  ***********************************	ため、削 ? 正職員』 か。 を者負担が公 を者負担が公 を も に し お に よ り に よ り に り に り に り と り と り と り と り と り と り と	減の余地はない。 以外や外部委託ができないか? 公平・公正か? 「理由) 材の確保ができない。		
効率性 D公平性 評価の	<ul><li>▼</li><li>●</li><li>●</li><li>●</li><li>●</li><li>▼</li><li>I</li><li>I</li><li>A</li><li>B</li></ul>	削減余地が 削減余地が 削減余地が 削減余地が 削減余地が 配し余いで 欠評価者として 目的妥当性	あるない <u>務時間)の削け</u> あるない <u>負担の適正化</u> がある  この評価結果	理由 成果 由 上余地 事 理由	を下げずにやり方 教科化や 教科化や 全ての学	(仕様や工法の め、最低限の の工夫で延べ 教科書改訂 を対象との 様を対象との	② 1次評価結果の総方を記している。  ***********************************	ため、削 ? 正職員』 か。 を者負担が公 を者負担が公 を も に し お に よ り に よ り に り に り に り と り と り と り と り と り と り と	減の余地はない。  以外や外部委託ができないか?  公平・公正か?  村の確保ができない。  教科担当者数の把握が業		
効率性 D公平性 評価の総	<ul><li>● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</li></ul>	削減余地がが 削減余地がが 性費(延来地がが 削減余・費用) 見立で・公正で を関連を表して を関連を表して を関連を表して を関連を表して を関連を表して を関連を表して を関連を表して を関連を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して	あるない 務時間)の削減ある。 の制度を表現である。 の動画 での対象を表現である。 での対象を表現である。 での対象を表現である。 での対象を表現である。 での対象を表現である。	理由 水果 中 中 一 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	基準を定。 を下げずにやり方 教科化や おの受益 全ての学 は直し余地ありり	(仕様や工法の) が、最低限の 対象と 対象と 対象と 対象と 対象を対象と 対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	② 1次評価結果の総方を記している。  ***********************************	ため、削 ? 正職員』 か。 を者負担が公 を者負担が公 を も に し お に よ り に よ り に り に り に り と り と り と り と り と り と り と	減の余地はない。  以外や外部委託ができないか?  公平・公正か?  村の確保ができない。  教科担当者数の把握が業		
効率性 D公平性 評価の総	<ul><li>● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</li></ul>	削減余地が 削減余地が 性費(延べ業 削減余地が 削減余地が 最直し公正で 欠評価者として 目的妥性 有効性	あるない <u>務時間)の削け</u> あるない <u>負担の適正化</u> がある <u>この評価</u> <u>に</u> <u>適</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>の</u> <u>し</u> <u>の</u> <u>の</u> <u>の</u> <u>の</u>	理由 水果 中 中 中 一 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	基準を定。 を下げずにやり方 教科化や 容が一部の受益 全ての学 直し余地あり	(仕様や工法の) が、最低限の 対象と 対象と 対象と 対象と 対象を対象と 対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	② 1次評価結果の総方を記している。  ***********************************	ため、削 ? 正職員』 か。 を者負担が公 を者負担が公 を も に し お に よ り に よ り に り に り に り と り と り と り と り と り と り と	減の余地はない。  以外や外部委託ができないか?  公平・公正か?  村の確保ができない。  教科担当者数の把握が業		
効率性 D公平性 評価の総	<ul><li>● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●</li></ul>	削減余地がが 削減余地がが 性費(延来地がが 削減余・費用) 見立で・公正で を関連を表して を関連を表して を関連を表して を関連を表して を関連を表して を関連を表して を関連を表して を関連を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して を表して	あるない 務時間)の削減ある。 の制度を表現である。 の動画 での対象を表現である。 での対象を表現である。 での対象を表現である。 での対象を表現である。 での対象を表現である。	理由 水果 中 中 中 一 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	基準を定。 を下げずにやり方 教科化や おの受益 全ての学 は直し余地ありり	(仕様や工法の) が、最低限の 対象と 対象と 対象と 対象と 対象を対象と 対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	② 1次評価結果の総方を記している。  ***********************************	ため、削 ? 正職員』 か。 を者負担が公 を者負担が公 を も に し お に よ り に よ り に り に り に り と り と り と り と り と り と り と	減の余地はない。  以外や外部委託ができないか?  公平・公正か?  村の確保ができない。  教科担当者数の把握が業		
効率性 D公平性 評価の総括	<ul><li>⑧ 人</li><li>◎ 受</li><li>○ □</li><li>○ □</li></ul>	削減余地がが 性費(延べ地がが 削減余・サールがが がががが 一間減余・サールががが 一型では、一型では、一型では、 を関する。 をしる。 をし。 をし。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし	あるい 務時間)の削け 務時間)の削け あるい 負担の適 直 で <th>理由 水果 中 中 中 一 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」</th> <th>基準を定。 を下げずにやり方 教科化や おの受益 全ての学 は直し余地ありり</th> <th>(仕様や工法の) が、最低限の 対象と 対象と 対象と 対象と 対象を対象と 対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対</th> <th>② 1次評価結果の総方を記している。  ***********************************</th> <th>ため、削 ? 正職員』 か。 を者負担が公 を者負担が公 を も に し お に よ り に よ り に り に り に り と り と り と り と り と り と り と</th> <th>減の余地はない。  以外や外部委託ができないか?  公平・公正か?  村の確保ができない。  教科担当者数の把握が業</th> <th></th>	理由 水果 中 中 中 一 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」 「」	基準を定。 を下げずにやり方 教科化や おの受益 全ての学 は直し余地ありり	(仕様や工法の) が、最低限の 対象と 対象と 対象と 対象と 対象を対象と 対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	② 1次評価結果の総方を記している。  ***********************************	ため、削 ? 正職員』 か。 を者負担が公 を者負担が公 を も に し お に よ り に よ り に り に り に り と り と り と り と り と り と り と	減の余地はない。  以外や外部委託ができないか?  公平・公正か?  村の確保ができない。  教科担当者数の把握が業		
効率性   D公平性   評価の総括   3	<ul><li>⑧ 人 □</li><li>◎ 受 □</li><li>□ 13 A B C D 今後</li></ul>	件費(延来地がが) 件費(延来地がが) 削減余・地がが 削減余・費用が 見公平・公正で 目的効性性 日本の方向性【PL	あるい  務時間)の削け 務時間)の削け あるい 負担の適正化 がある の評価 は 適適適適適適 の 適 AN】	理由 成果 由 上余地 事 理	基準を定。を下げずにやり方 教科化や を下げずにやり方 教科化や 全ての学 直し余地ああり 直し余地ありり 直し余地ありり	(仕様や工法の) が、最低に限いて、 の工夫で延べ言 でなる 対科書に無対象 とり できる 対称を対応 おおいっと の できる おおいっと の できる はいっと しょうしょう しょうしょう しょうしょう はいしょう はいしょく はいしょう はいしょく はい	の適正化、住民の協力など)の数量購入としている 業務時間を削減できないか 「に伴う事務であるため で不公平ではないか? 受益 している。 ② 1次評価結果の総括 にい財政状況の中、一 にいと確定できないた	ため、削 ? 正職員』 か。 を者負担が公 を者負担が公 を も に し お に よ り に よ り に り に り に り と り と り と り と り と り と り と	減の余地はない。  以外や外部委託ができないか?  公平・公正か?  対の確保ができない。  教科担当者数の把握が業	推しい。	
効率性   D公平性   評価の総括   3	<ul><li>⑧ 人 □</li><li>◎ 受 □</li><li>□ 13 A B C D 今後</li></ul>	削減余地がが 性費(延べ地がが 削減余・サールがが がががが 一間減余・サールががが 一型では、一型では、一型では、 を関する。 をしる。 をし。 をし。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし	あるい  務時間)の削け 務時間)の削け あるい 負担の適正化 がある の評価 は 適適適適適適 の 適 AN】	理由 成果 由 上余地 事 理	基準を定。を下げずにやり方 教科化や を下げずにやり方 教科化や 全ての学 直し余地ああり 直し余地ありり 直し余地ありり	(仕様や工法の) が、最低に限いて、 の工夫で延べ言 でなる 対科書に無対象 とり できる 対称を対応 おおいっと の できる おおいっと の できる はいっと しょうしょう しょうしょう しょうしょう はいしょう はいしょく はいしょう はいしょく はい	の適正化、住民の協力など)の数量購入としている 業務時間を削減できないか 「に伴う事務であるため で不公平ではないか? 受益 している。 ② 1次評価結果の総括 にい財政状況の中、一 にいと確定できないた	ため、削 ? 正職員』 か。 を者負担が公 を者負担が公 を も に し お に よ り に よ り に り に り に り と り と り と り と り と り と り と	減の余地はない。  以外や外部委託ができないか?  公平・公正か?  村の確保ができない。  教科担当者数の把握が業	推しい。	

3 今後の方向性【PLAN】	
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果
□廃止 □休止 □目的再設定 □事業統廃合・連携 ■事業のやり方改善(有効性改善) □事業のやり方改善(効率性改善) □現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 令和2年度に中学校の教科書改訂に伴う整備が必要となる。 今年度、12月補正にて予算措置をする。 準拠教材のうち、必要な物を整備していく。	コスト 削減 維持 増加 向上 成維 果 低 下
	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上 しない、もしくはコスト維持で成果低下では 改革・改善とはならない。